

あきつ



No. 36 令和6年2月20日

校長 太良木 香江

読書を試してみませんか

本校の図書室前の廊下に大きな掲示板があります。そこには季節や月ごとの行事、それに関連する本を紹介しています。私はその場所を通るたびに見入ってしまい、そして心が温かくなります(下の写真をご覧ください)。

まずこの掲示板を制作したのは学校主事の片山です。夏休みに取り組み完成させました。とても大きなものなので、うまくできるか心配したということですが、素晴らしい出来栄えです。掲示物をつくってくださったのは秋津小の読書ボランティアの会「アリスの会」の皆様です。本の整理、修理、そして本の読み聞かせを低・中学年で行っていただきました。今後、高学年でも行う予定です。更に卒業する6年生にはしおりを制作し、プレゼントしてくださるそうです。本校では司書業務補助の古谷が図書室の整理を行っています、一人ではなかなか大変です。「アリスの会」の皆様のお力はとても大きくありがたいです。

また今年度は本の寄贈も多くありました。毎朝、交通指導を行っておられる地域の交通安全協会の貝島治男さん、鶯橋の橋の工事をなさっている九建さん、そして租税の知識や理解の普及啓発に取り組んでおられる熊本法人会さんです。このように秋津小の図書室は多くの方々の支えをいただいで運営されており感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、秋津小の読書活動を推進している職員は図書担当の桑原と古谷です。図書委員会の子どもたちがもっと秋津小の皆さんに読書に親しんでほしいという思いから「季節はずれの読書運動会」と題した取組を実施中です。1・3・5年生が赤組、2・4・6年が白組です。先週は「秋津小図書室の七不思議」という動画の中に現れる本の名前(その本は各学年で最も借りられた本です)がクイズとなっている紅白クイズにチャレンジしました。

また2月初めには国語の学習で本の紹介に取り組んでいる学年もあり、子どもたちが自分のお気に入りの本を聞き手に分かりやすいように工夫して伝えている姿が見られました。ちなみに私は毎朝、新聞にある連載小説を読んで出勤しています。明日は話の展開がどうなるのか想像し楽しみにしています。

読書は語彙力、文章力が養われる、想像力が豊かになる、視野が広がる、教養や知識が身に付くなど多くの効果を得ることができます。「この本、おもしろかったよ。こんな本を読んだよ」と子どもたち同士での会話が聞かれるとうれしいです。



アリスの会の皆さんです。



図書室前の掲示です。



赤組、白組どちらが勝つでしょうか。楽しみです。



4年2組のみなさんの読書紹介カードです。お気に入りの本です。



【 学校教育目標 】
一人一人が輝く、笑顔あふれる学校
自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進
～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



2月の生活目標

集中そうじをしよう
～すみずみまで!!～

あ あかるいあいさつ
あき きれいな学校
つ つながるこころ
つ つながり合おう

ホームページ
QRコード